

市町村指定文化財取材票 《表》

| | | | | | |
|-------|---------------------|-----|----|-------|------|
| 取材日 | 2023年 | 12月 | 6日 | (記入者) | 荒井 裕 |
| 取材参加者 | 荒井 | 垣内 | 久門 | 島田 | 鶴田 |
| | 横山 | | | | |
| 取材対象先 | 桜井市：慶田寺の木造十一面観音菩薩立像 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------|--------------------------------|----|--------------------------------|--------|--------------|
| 所在地 | 桜井市芝735 | | | | |
| 所有者（取材 対応者）名 | 大竹玄峰住職（個人情報守秘） | | | 連絡先 | 0744-42-6209 |
| | | | | PCアドレス | |
| 取材申込 | 申込先・行政名など：慶田寺 大竹玄峰住職 | | | | |
| 市町村 指定文化財 | 彫刻 | 1躯 | 木造十一面観音菩薩立像 2015(平成27)年5月11日指定 | | |
| | 建造物 | 棟 | | | |
| 文化財指定理由 | 慶田寺の近隣にあった広読寺の像で平安時代前期の作の一木造り。 | | | | |

文化財の状況

| | 設備・対策・点検・通知方法など | 記入者の感想 |
|--------------------------------|---|------------------------------|
| 防火対策 | 消火器・火災報知機を設置している。警備会社と契約されている。 | 境内が広く、本堂なども大きな寺だが管理が行き届いている。 |
| 獣害対策 | 被害の有無、対策など 獣害はないようである。夜は門を閉ざされている。 | 特になし。 |
| 保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策 | 現本堂は1985（昭和60）年に宮大工・西岡常一氏、弟子の小川三夫氏の手により再建された。檀家の協力が大きかったようだ。今後もその協力の精神で守っていただきたい。 | |

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題（修復,維持,管理,環境など）

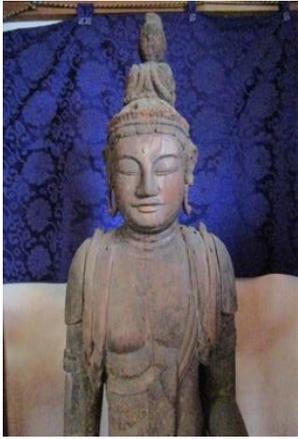
境内が広いので管理が大変だと思われるが、維持管理に精力的に取り込んでおられるようだ。雑草がほとんど見られないのが印象に残った。箸墓古墳に程近いのと織田家の菩提寺ということで歴史街道の一部となっている。

市町村指定文化財取材票《裏》

| | | | | | |
|-------|---------------------|-----|----|-------|------|
| 取材日 | 2023年 | 12月 | 6日 | (記入者) | 荒井 裕 |
| 取材参加者 | 荒井 | 垣内 | 久門 | 島田 | 鶴田 |
| | 横山 | | | | |
| 取材対象先 | 桜井市：慶田寺の木造十一面観音菩薩立像 | | | | |

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名： 木造十一面観音菩薩立像

| 文化財（正面写真） | 文化財（角度を変えて、写真） |
|---|--|
|  |  |
| 文化財（慶田寺所有の写真から） | 正門(元は芝村藩陣屋大手門) |
|  |  |
| 文化財の由緒などを記入 | 所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入 |
| <p>納骨堂には近隣の融通念仏宗・広読寺の廃寺に伴い阿弥陀如来坐像、十一面観音菩薩立像が祀られている。平安時代前期の作で内ぐりのない一木造りで、像高203cm。1972（昭和47）年に修復されている。以前は肩幅を広くする様な改変等がなされていたが、修復時に元型に戻すべく狭くしたとのこと。頭上面は仏面以外は亡失、大きな鼻、細いがくっきりした目が印象的である。</p> | <p>慶田寺は1470（文明2）年の創建。織田信長の末弟・織田長益(織田有楽斎)ゆかりの寺である。長益の4男、長政は1万石を与えられ、戒重藩（後の芝村藩）の祖となった。慶田寺は織田家の菩提寺として境内に歴代藩主の墓があり、代々お守りを続けておられる。正門は1871（明治4）年の廃藩置県を機に芝村藩織田家陣屋大手門を移築したものである。</p> |